

議案第2号 - ②

特別養護老人ホームやすらぎの里・大田原

平成28年度事業計画

特別養護老人ホームやすらぎの里・大田原

平成28年度事業計画

【運営方針】

- ① 法人の経営理念に沿って事業を推進する。
- ② ニーズに応じた総合的・一体的・効果的な各種サービスを提供する。
- ③ 「安心・信頼」個々の生活を大切に、誰からも選ばれる施設づくりを目指す。
- ④ 「やすらぎ」の空間を大切に、笑顔あふれる居心地の良い環境づくりを目指す。

【年間重点目標】

- ① 職員教育の充実
個人の業務評価にもとづいた力量（スキル）により、必要に応じた教育の実施とそのフォローアップにより有効な教育を行う。
- ② 情報の共有化
施設内（各サービス）の縦と横の繋がりを大切にし、サービスの質の向上を目指した横断的な委員会（会議）活動の活性化を図る。
- ③ 業務の効率化
定期的な業務活動の見直しにより職員の「無駄」「無理」「ムラ」をなくす。
- ④ 心の健康づくり推進に向けての取り組み
従業員心の健康は、従業員とその家族の幸福な生活の為に、また事業場の生産性及び活気のある職場づくりのために重要な課題であることを認識し、精神疾患への対応だけでなく、職場でのコミュニケーションの活性化等を含め広い意味での心の健康づくりに取り組む。

【稼動目標】

- ① 特別養護老人ホームやすらぎの里・大田原
平均入所率 100%
- ② （予防）ショートステイやすらぎの里・大田原
平均利用率 95%
- ③ （予防）デイサービスセンターやすらぎ舎
1日平均25名以上
- ④ （予防）ホームヘルプサービスやすらぎ舎
利用人数35名以上 ヘルパー稼動率3.0%以上
- ⑤ 在宅介護支援センターやすらぎ舎
取り扱い件数上限 90%以上

【各種委員会】

委員会名	開催頻度	目的	委員構成
1. 運営委員会	月1回	・施設運営について施設全体で取り組むべき事柄や問題点の改善について・施設事業計画に沿った事業を実施するため、会議及び委員会、行事等を記載した月間予定表の作成。	管理職 各業務責任者 相談員・介護主任看護職員・管理栄養士・事務員 等
2. 品質管理委員会 (品質向上委員会)	月1回	・品質管理業務における連絡調整と各業務における品質向上委員会(会議)と連動し、 <u>取り組み成果等の発表報告</u>	同上
3. 衛生管理委員会	月1回	職員及び施設内の衛生管理について 心の健康づくり推進に向けての取り組み	同上
4. 感染予防対策委員会	年4回及び 随時	職員及び施設内の感染症予防対策について	同上
5. 防火管理委員会	随時	消防訓練の計画及び実施消防設備と危険物点検、緊急連絡網訓練の実施	同上
6. 広報委員会	随時	・施設広報誌の発行に関する こと。ご利用者様やご家族、 地域等へのPR活動及び交流に ついて計画実施する。	施設長の選任
7. 行事委員会	随時	・施設事業計画にある行事を 円滑に実施するため計画及び 開催後の評価等を行う。	各業務職員 その他
8. 給食委員会	月1回	・ご利用者様への食事提供を より良いものとするため定期 的にメニュー等について話し 合う。	管理職、各業務職 員・看護職員・委託 担当者・委託栄養士

【全体研修】

研修名	開催頻度	目的	参加職員
個別ケアに関する研修	年2回	各業務におけるサービスの質の向上 ～待遇・リスクマネジメント等～	全職員
感染症に関する研修	年2回	福祉施設においての、感染症に関するガイ ドラインを基にした研修	全職員

特別養護老人ホームやすらぎの里・大田原

(介護老人福祉施設)

ショートステイやすらぎの里・大田原

(短期入所生活介護/介護予防短期入所生活介護)

【利用定員】 長期入所：53名 ショートステイ：17名

【職員配置】施設長：1名 事務職員：2名 介護支援専門員：1名 生活相談員：1名
看護職員：5名(内4名兼務) 機能訓練指導員：1名 管理栄養士：1名
栄養士：1名(非常勤) 介護職主任：1名 介護職員：24名
介護補助職員：1名 送迎・用務職員：2名(非常勤)

1. サービス基本方針

- ①個々のニーズに応え、ご利用者ひとりひとりがその人らしく生きることを支えます。
- ②職種間・家族・地域との連携を大切にし、信頼される施設を目指します。
- ③楽しみ・喜びを見出し、笑顔あふれる施設にします。

2. 年間重点目標

(1) 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)

ご利用者個々のニーズに合わせたサービスを提供し、満足度を高め、その人らしい生き方を支える。

《春夏秋冬ユニット》

『ご利用者様の満足度を高めるレクリエーションの充実』

- ・年間カレンダー作成にてレクリエーション実施状況を明確にし実施の促進に繋げる

《遊♡湯ユニット》

『ご利用者の笑顔・満足度を高める』

- ・外出支援や個々のご利用者の興味・趣味をサポートし生きがいを持っていただく
- ・ご家族との信頼関係を構築する

《なごやかユニット》

- ・『利用者のニーズに合わせたサービスの提供』
- ・『介護事故の減少』

(2) 短期入所生活介護/介護予防短期入所生活介護(ショートステイ)

ご利用者に満足度の高いサービスを提供するため関係者との連携を密にする。

- ①利用率アップの為の取り組み(外部への働きかけ)を行う。
- ②ご利用者の満足度アップに向けての取り組みを行う。
 - ・アンケートの結果よりサービス内容の充実を図る。
 - ・職種間の連携、レクリエーション活動の充実。

3. 健康管理の充実

(1) 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

- ・ 嘱託医の回診 週2回・健康診断の実施 年2回・予防接種（インフルエンザ）
- ・ 酸素濃度測定 月1回・血圧（入浴日及び必要時）、体重測定 月2回

(2) 短期入所生活介護/介護予防短期入所生活介護（ショートステイ）

- ・ 血圧、体温、体重測定、血中酸素濃度測定

4. 行事計画

月	行事名（内容）	その他の行事
4月	お花見会・家族説明会（ご家族・ボランティア参加の昼食会）	手作りおやつ・お誕生会・外出支援
5月	母の日（母の日プレゼント）	
6月	父の日（父の日プレゼント）	
7月	七夕・七夕飾り（職員・ボランティアによる飾り付け）	
8月	遠足（水族館・ハイキング・ショッピング等）	
9月	敬老秋祭り会（ご家族参加での敬老のお祝い、模擬店販売）	
10月	紅葉狩り・鮎狩り	
11月	体育祭・文化祭（施設内への展示）	
12月	クリスマス会（余興、夕食会、クリスマスプレゼント）	
1月	正月行事（初詣参拝）、餅つき	
2月	節分会（豆まき）	
3月	ひな祭り（ひな祭り展示）	
※ <input type="checkbox"/> ご利用者様全体の行事、無印は（各ユニットにて実施） ※誕生会（月1回）は各ユニットにて実施		

5. 会議・委員会の実施

会議名	実施頻度	目的	参加者
入所検討委員会	年3回	入所決定過程の透明性及び公平性を図り、入所者が円滑に入所できること目的とする。	施設長・看護師・ケアマネ・相談員、民生委員、市役所職員
特養会議	月1回	サービス提供における職員の意識の統一や問題点及び改善点への取り組み。	施設長、特養職員全員
リーダー会議	適時	ユニット間の職員異動及び改善の取り組み。	ユニット長、相談員、介護主任、ケアマネ

ユニット会議	月1回	各ユニット内におけるサービス提供の状態について、問題点の解決等を話し合う	各ユニット職員、介護主任、ケアマネ、相談員、管理栄養士、看護師
事故防止検討委員会	月1回	介護事故防止についての対策を話し合う。	施設長・看護師・ケアマネ・相談員・介護主任・各ユニット担当者
身体拘束・虐待防止委員会	月1回	利用者への身体拘束・虐待を防止するための処置等を話し合う。	施設長・看護師・ケアマネ・相談員・介護主任・各ユニット担当者
褥瘡対策委員会	月1回	健康で尊厳ある生活実現の為に、褥瘡発生予防と早期対応をする。	各ユニット職員、介護主任、相談員、看護師、ケアマネ
品質向上委員会	適時	職員の利用者に対する介護力の向上について考える。	施設長、各ユニット長、介護主任、相談員、ケアマネ

6. 内部研修

研修名	実施頻度	目的	参加者
看取りに関する研修	年1回	看取りに関する指針の内容を周知する	特養職員全員
介護リスクマネジメント研修	年2回	介護事故予防	特養職員全員
腰痛予防に関する研修	年1回	職員の身体的介護負担軽減	特養職員全員
品質向上に関する研修	年3回	品質向上（排泄・水分摂取・腰痛予防）	特養職員全員
身体拘束廃止・高齢者虐待防止に関する研修	年2回	身体拘束・高齢者虐待予防について	特養職員全員
褥瘡予防に関する研修	年2回	褥瘡予防について	特養職員全員
認知症に関する研修	年1回	認知症への理解を深める	特養職員全員
感染症に関する研修	年2回	インフルエンザ、ノロウイルス、0-15 予防について	特養職員全員

7. 外部研修会

研修名	開催	目的	参加者
認知症に関する研修会	未定	認知症の理解と関わり方	業務職員
感染予防に関する研修	未定	感染症に関する知識とその取り組み	業務職員
身体拘束・虐待予防に関する研修	未定	身体拘束廃止への取り組み	業務職員
介護支援専門員現任研修会	未定	介護支援専門員のレベルアップ	ケアマネ
痰の吸引に関する研修	未定	介護職員等による吸引業務の為	業務職員
その他必要性の有る研修	未定	未定	業務職員

デイサービスセンターやすらぎ舎

(通所介護・介護予防通所介護)

【利用定員】 30名

【職員配置】 管理者：1名 生活相談員：2名
看護職員：2名（機能訓練指導員兼務） 介護職員：8名
送迎職員：2名（非常勤）

1. サービス基本方針

安全・安心・信頼に配慮した、ご利用者様中心のサービスを実施し、いつまでも継続して利用したいと思える環境を提供していきます。

2. 年間重点目標

職員や提供するサービスの質・内容を充実させていく。

・・・アクションプラン・・・

- ① レクリエーションについての研修を実施し、レク技術・内容の充実を図る。
- ② 介護や接遇についての研修を実施し、職員の質の向上を図る。
- ③ より良い送迎を目指し、送迎技術・知識の向上を目的とした研修を実施していく。

3. 行事計画

※野外は利用者が一巡する日程です。また、行事内容は、毎月の会議の話し合いの内容によって変更有。

月	行事名	内容	その他の行事
4月	お花見 お花見外食ツアー	未定 未定	お誕生会・手芸等創作活動
5月	母の日 創作活動 握りずし（予定）	母の日プレゼント配布 未定 未定	おやつ作り・外食ツアー 外出行事・ショッピング カラオケ大会
6月	父の日 紫陽花見学ツアー（予定）	父の日プレゼント配布 未定	
7月	七夕 おやつ作り	短冊、飾り作り 未定	【ボランティア受入れ】 ※特養と合同

8月	夏祭り	未定	読み聞かせボランティア 踊り等のボランティア カラオケボランティア 等
9月	敬老会	特養と合同 敬老会プレゼント配布	
	鮎狩り	未定	
10月	紅葉狩り	未定	
	創作活動	未定	
11月	文化祭	未定	
	紅葉狩り	未定	
	運動会	特養と合同	
12月	クリスマスおやつ作り	未定	
	忘年会	昼食バイキングメニュー 一等	
1月	初詣 とんぼ団子作り(予定)	神社参拝 団子作り	
2月	おやつ作り 創作活動	未定 未定	
	節分	豆まき	
3月	おやつ作り 創作活動	未定	

4. 会議・委員会等

会議名	実施頻度	目的	参加者
職員会議	月1回 (第1水曜日)	行事や細かなケアについての職員間の 確認と周知徹底。	デイ職員全員
品質向上委員会	2ヶ月に1回 (第3水曜日)	サービス提供についての検討と改善点 への取り組み。	デイ職員全員

5. 内部研修会

内容	実施頻度	目的	参加者
介護知識向上のための研修	随時	職員に必要とされる介護知識の向上を図る。	デイ職員全員
介護リスクマネジメント研修	随時	介護事故予防を目的とし、危険予知能力を身につける。	デイ職員全員
感染症について	年2回	ご利用者様に安心してご利用していただけるよう、感染症に関する知識を高め、予防と拡大を防ぐ。	デイ職員全員
介護技術研修	随時	より安全に安心していただける正しい介護技術を学ぶ。	デイ職員全員
送迎技術・知識研修	年1回	安全にご利用者様を送迎できるように、必要な技術と正しい知識を学ぶ。	デイ職員全員
レクリエーションに関する研修	随時	ご利用者様誰もが、楽しんで参加できるレクを目指し技術・知識等を学ぶ。	デイ職員全員

6. 外部会議・研修会

内容	開催	目的	参加者
認知症に関する研修	未定	認知症のご利用者様に対して、適切な支援とサービス提供を行うための知識を学ぶ。	デイ職員 2名程度
接遇に関する研修	未定	ご利用者様に満足度の高いサービス提供をする為、基本を学ぶ。	デイ職員 2名程度
安全運転講習会	未定	安全で安心して乗車して頂ける為の運転スキルを身につける。	デイ職員 2名程度
レクリエーションに関する研修	未定	ご利用者様誰もが、楽しんで参加できるレクを目指し、技術・知識等を学ぶ。	デイ職員 2名程度

ホームヘルプサービスやすらぎ舎

(訪問介護事業・介護予防訪問介護)

【職員配置】 管理者：1名 サービス提供責任者：1名 介護職員：1名
登録ヘルパー：6名

1. サービス基本方針

自立に向けた支援
個別ケア

2. 年間重点目標

- ①ヘルパーの個人技術の向上：ヘルパー個人に合ったスキルアップを目指す。
- ② ヘルパー間での情報共有：ハウ・レン・ソウの徹底。
- ③ 統一された支援の提供：状態に合わせた的確な支援ができる。

3. サービス内容

介護訪問サービス

- ・身体介護－入浴介助、排泄介助、食事介助、体位変換を行います。
- ・生活援助－調理、洗濯、掃除、買い物等日常生活上の援助を行います。

介護予防訪問サービス

- ・調理、洗濯、掃除、買い物等日常生活上の援助を一緒に行います。

4. 会議等

会議名	実施頻度	目的	参加者
ヘルパー会議 ※品質向上への取り組み含む	月1回	サービス提供における職員の意識の統一や問題点及び改善点への取り組み。	ヘルパー全員
カンファレンス	月1回	利用者支援の統一を図りより良いサービスの提供に繋げる。	ヘルパー全員

5. 人材教育（内部研修）

教育内容	実施頻度	目的	参加者
ヘルパー個別研修 ※個人毎の教育計画をもとに実施	ヘルパー毎に 年1回以上	ヘルパー毎に必要なとされる 技術向上に関する研修会	各ヘルパー

6. 外部研修会

会議名	開催	目的	参加者
介護保険サービス事業者 者集団指導等、法令に関する 研修会	未定	介護保険の適正な運営と 関係法令等の説明	管理者、各業務責任者
感染症に関する研修	未定	感染症予防について	各ヘルパー
認知症に関する研修	未定	認知症の理解とかわり 方	各ヘルパー
腰痛予防に関する研修	未定	腰痛予防について	各ヘルパー

在宅介護支援センターやすらぎ舎

(居宅介護支援)

【職員配置】 管理者兼主任介護支援専門員：1名 介護支援専門員：3名

1. サービス基本方針

介護保険利用者および家族の相談業務をおこなう中で、地域の社会資源を活かし、公平中立な立場で利用者の望む暮らしの実現のため、生活機能の維持・向上の取り組みをおこなう。

2. 年間重点目標

- ①市内地域包括支援センターとの連携を強化し、ご利用者の取扱い件数を増やす。
- ②職員の力量に応じた教育訓練の実施。

3. 会議

会議名	実施頻度	目的	参加者
職員会議 ※品質向上における取組含	月1回	サービス提供における職員の意識の統一。	介護支援専門員
定例会議 (特定事業所加算に係る)	おおむね 週1回程度	処遇困難ケースの検討。諸制度に関する事項。地域における社会資源について。ケアマネジメント技術について。その他	介護支援専門員

4. 内部研修

研修名	実施頻度	目的	参加者
ケアマネジメント技法	随時	スキルアップ	介護支援専門員
認知症について	随時	認知症の理解を深める	介護支援専門員
医療連携について	随時	医療との連携がスムーズに図れるようにする	介護支援専門員
地域包括支援センターとの連携	年1回	情報交換を行い日常生活支援総合事業等について知識を得る。	介護支援専門員

地域包括ケアについて	随時	地域包括ケアシステムについて理解を深める	介護支援専門員
個別研修	年1回以上	個別の力量の応じた研修	介護支援専門員

5. 外部研修

研修名	開催	目的	参加者
介護支援専門員専門研修 介護支援専門員現任研修 大田原市ケアマネ協研修 主任ケアマネ勉強会 サービス事業者協との合同研修会 その他	随時	介護支援専門員の質の向上とレベルアップ 連携強化	介護支援専門員

6. 地域との連携

研修名	開催	目的	参加者
地域ケア会議	年1回 (3地区ごと)	地域包括支援センター主催にて、地域の各職種や関係者による地域の課題の共有と連携強化を図る。	介護支援専門員

栄養管理業務

1. サービス基本方針

- ① 個別ケアを重視した栄養管理を実施するため、ご利用者様の低栄養状態等、看護職員や介護職員等と連携し、ご利用者様個人に最適な栄養ケアマネジメントを実施し低栄養の改善に努める。
- ② 咀嚼、嚥下に配慮した食事（ソフト食）の充実を図り、安全で満足感の得られる食事提供を行うことで、いつまでも経口摂取で食べられる支援をする。
- ③ 病態別食事療養に力を入れ、特に減塩食については徹底した塩分管理の下に食事提供する。
- ④ クックチル実践のため厨房環境を整え安全・安心な食事提供をする。
- ⑤ 季節感のある、お年寄りに喜ばれる食事や行事食のため、見た目と美味しさを追求した提供を行っていく。

2. 給食業務（厨房）の管理

- ④ 献立・給食の管理
- ⑤ 食数の管理・衛生管理
- ⑥ 個々人の栄養管理
- ⑦ 委託業者との連絡調整及び業務内容の管理

3. 会議・委員会の実施

会議名	実施頻度	目的	参加者
献立会議	月1回	施設の行事や献立作成に関する打ち合わせ	各栄養士 調理員
給食委員会	月1回	献立や味付けに関する情報収集及び発生した不具合等の改善状況報告	施設長、各業務代表、栄養士、委託管理者
厨房内打合会議（※委託先実施のミーティングに合わせて実施）	月1回	給食委員会での討議内容の確認と、不具合の是正の取組みについて検討。	委託調理関係者、施設栄養士
献立検討会議	月1回	やすらぎの里・若草園栄養士と各々のアウトソース先栄養士合同による給食試食と献立内容の検討。	各施設栄養士 各委託先栄養士

4. 内部研修

研修名	開催	目的	参加者
衛生管理・感染症予防	年2回	給食業務における適切な衛生管理	管理栄養士、栄養士 委託先職員
ソフト食・クックチルについて	年3回	給食業務における調理技術	管理栄養士、栄養士 委託先職員

5. 外部研修会

研修名	開催	目的	参加者
衛生管理研修	未定	給食業務における適切な衛生管理	管理栄養士、栄養士、 調理師
給食管理研修	未定	適切な給食管理	〃
栄養管理研修	未定	適切な栄養管理	〃

6. 行事食予定

月	行事食	毎月定例
4月	お花見会弁当（ご家族参加）・お楽しみ献立	誕生会 ・ 選択食
5月	端午の節句 ・ 母の日・お楽しみ献立	誕生会 ・ 選択食
6月	父の日・お楽しみ献立	誕生会 ・ 選択食
7月	七夕祭り ・ 土用の丑の日・お楽しみ献立	誕生会 ・ 選択食
8月	釜のふた・お盆・お楽しみ献立	誕生会 ・ 選択食
9月	敬老秋祭り（ご家族参加）・ 秋のお彼岸・ お楽しみ献立・十五夜（中秋の名月）	誕生会 ・ 選択食
10月	お楽しみ献立・イベント食	誕生会 ・ 選択食
11月	体育祭・お楽しみ献立・そば打ち（地域ボランティア）	誕生会 ・ 選択食
12月	クリスマス会 ・ そば打ち（小町さん）・年越し そば	誕生会 ・ 選択食
1月	3が日おせち料理・七草粥・お餅つき・ 小正月 お楽しみ献立	誕生会 ・ 選択食
2月	節分・初午・お楽しみ献立	誕生会 ・ 選択食
3月	ひな祭り ・ 春のお彼岸・お楽しみ献立	誕生会 ・ 選択食

議案第2号 - ②

特別養護老人ホームやすらぎの里シエスタ

平成28年度事業計画（案）

特別養護老人ホームやすらぎの里シエスタ

平成28年度事業計画

【運営方針】

※特別養護老人ホームやすらぎの里・大田原事業計画に準ずる

【年間重点目標】

※特別養護老人ホームやすらぎの里・大田原事業計画に準ずる

【稼働目標】

⑥ 特別養護老人ホームやすらぎの里シエスタ

平均入所率 100%

⑦ (予防) ショートステイやすらぎの里シエスタ

平均利用率 70%

【各種委員会】

※特別養護老人ホームやすらぎの里・大田原事業計画に準ずる

【全体研修】

※特別養護老人ホームやすらぎの里・大田原事業計画に準ずる

特別養護老人ホームやすらぎの里シエスタ

(介護老人福祉施設)

ショートステイやすらぎの里シエスタ

(短期入所生活介護/介護予防短期入所生活介護)

【利用定員】

長期入居：30名（1ユニット10名×3ユニット） ショートステイ：10名

【職員配置】

施設長：1名 事務職員：2名 介護支援専門員：1名（兼務）生活相談員：1名（兼務）
看護職員：4名（兼務）機能訓練指導員：4名（兼務）管理栄養士：1名
栄養士：1名（非常勤） 介護職副主任：1名 ユニットリーダー：4名
介護職員：16名

1. 基本方針

- ①個々のニーズに応え、ご利用者ひとりひとりがその人らしく生きることを支えます
- ②職種間・家族・地域との連携を大切にし、信頼される施設を目指します
- ③楽しみ・喜びを見出し、笑顔あふれる施設にします

2. 年間重点目標

(1) 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

《若葉ユニット》

『入居者の更なるニーズの把握に努め、楽しみが持て、その人らしい暮らしの実現に向けて支援していく』

《向日葵ユニット》

『24時間シートを生かし、一人ひとりの好みに合わせた支援をしていく』

《楓ユニット》

『事故のない安心して過ごせるユニットを目指し入居者の自立を支える』

(2) 短期入所生活介護/介護予防短期入所生活介護（ショートステイ）

“楽しかった・また来たい” と思って頂けるような満足度を高め稼働率の向上を目指す

《桜ユニット》

『ご利用者・ご家族様が安心して利用できるサービスの提供を行う』

3. 健康管理の充実

(1) 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

- ・ 嘱託医の回診 週2回・健康診断の実施 年2回・予防接種（インフルエンザ）
- ・ 酸素濃度測定 月1回・血圧（入浴日及び必要時）、体重測定 月2回

(2) 短期入所生活介護/介護予防短期入所生活介護（ショートステイ）

- ・ 血圧、体温、体重測定、血中酸素濃度測定

4. 行事計画

月	行事名（内容）	その他の行事
4月	お花見会	手作りおやつ・お誕生会・外出支援
7月	七夕・七夕飾り（職員・ボランティアによる飾り付け）	
9月	敬老秋祭り会（ご家族参加での敬老のお祝い、模擬店販売）	
10月	紅葉狩り・鮎狩り	
12月	クリスマス会（余興、夕食会）	
1月	正月行事（初詣参拝）、餅つき	
2月	節分会（豆まき）	
3月	ひな祭り（ひな祭り展示）	
※ <input type="checkbox"/> ご利用者様全体の行事、無印は（各ユニットにて実施） ※ 誕生会（月1回）は各ユニットにて実施		

5. 会議・委員会の実施

会議名	実施頻度	目的	参加者
入居検討委員会	年3回	入所決定過程の透明性及び公平性を図り、入所者が円滑に入所できること目的とする。	施設長・看護師・ケアマネ・相談員、民生委員、市役所職員
特養会議	月1回	サービス提供における職員の意識の統一や問題点及び改善点への取り組み。	施設長、特養職員全員
リーダー会議	適時	ユニット間の職員異動及び改善の取り組み。	ユニットリーダー、相談員、介護副主任、ケアマネ
ユニット会議	月1回	ユニット内におけるサービス提供の状態について、問題点の解決等を話し合う	各ユニット職員、介護副主任、ケアマネ、相談員、管理栄養士、看護師
身体拘束・虐待防止委員会	月1回	利用者への身体拘束・虐待を防止するための処置等を話し合う。	施設長・看護師・ケアマネ・相談員・介護副主任・各ユニット事故防止委

			員
褥瘡対策委員会	月1回	健康で尊厳ある生活実現の為に、褥瘡発生予防と早期発見に対応する。	各ユニット職員、介護副主任、ケアマネ、相談員、管理栄養士、看護師
事故防止検討委員会	月1回	介護事故防止についての対策を話し合う。	施設長・看護師・ケアマネ・相談員・介護副主任・各ユニット事故防止委員
品質向上委員会	適時	職員の利用者に対する介護力の向上について考える。	施設長、各ユニットリーダー 介護副主任、相談員、ケアマネ

6. 内部研修

研修名	実施頻度	目的	参加者
看取りに関する研修	年1回	看取りに関する指針の内容を周知する	特養職員全員
介護リスクマネジメント研修	年2回	介護事故予防	特養職員全員
腰痛予防に関する研修	年1回	職員の身体的介護負担軽減	特養職員全員
品質向上に関する研修	年4回	品質向上（排泄・水分摂取・腰痛予防）について。	特養職員全員
身体拘束廃止・高齢者虐待防止に関する研修	年2回	身体拘束・高齢者虐待予防について	特養職員全員
褥瘡予防に関する研修	年2回	褥瘡予防について	特養職員全員
認知症に関する研修	年1回	認知症への理解を深める	特養職員全員
感染症に関する研修	年2回	インフルエンザ、ノロウイルス、O-15 予防について	特養職員全員

7. 外部研修会

研修名	開催	目的	参加者
認知症に関する研修会	未定	認知症の理解と関わり方	業務職員
感染予防に関する研修	未定	感染症に関する知識とその取り組み	業務職員
身体拘束・虐待予防に関する研修	未定	身体拘束廃止への取り組み	業務職員
介護支援専門員現任研修会	未定	介護支援専門員のレベルアップ	ケアマネ
痰の吸引に関する研修	未定	介護職員等による吸引業務の為	業務職員
その他必要性の有る研修	未定	未定	業務職員